

2008 年度

I. 論文

1. 原著論文

英文

1. A. Okamura, M. Yamamori, M. Shimoyama, Y. Kawano, H. Kawano, Y. Kawamori, S. Nishikawa, K. Minagawa, K. Yakushijin, Y. Katayama, T. Sakaeda, M. Hirai, T. Matsui. Pharmacokinetics-based optimal dose-exploration of mycophenolate mofetil in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Int. J. Hematol.*, 88 (1), 104-110 (2008).
2. J. Ogura, M. Kobayashi, S. Itagaki, T. Hirano, K. Iseki. Post-transcriptional regulation of breast cancer resistance protein after intestinal ischemia-reperfusion. *Biol. Pharm. Bull.*, 31(5), 1032-1035 (2008).
3. J. Ogura, M. Kobayashi, S. Itagaki, T. Hirano, K. Iseki. Alteration of Mrp2 and P-gp expression, including expression in remote organs, after intestinal ischemia-reperfusion. *Life Sci.*, 82 (25-26), 1242-1248 (2008).
4. S. Seki, S. Itagaki, M. Kobayashi, T. Hirano, K. Iseki. Amiodarone increases the accumulation of DEA in a human alveolar epithelium-derived cell line. *Biol. Pharm. Bull.*, 31 (7), 1449-1452 (2008).
5. S. Itagaki, A. Ochiai, M. Kobayashi, M. Sugawara, T. Hirano, K. Iseki. Interaction of coenzyme Q10 with the intestinal drug transporter P-glycoprotein. *J. Agric. Food Chem.*, 56 (16), 6923-6927 (2008).
6. S. Yasuda, S. Hasui, C. Yamamoto, C. Yoshioka, M. Kobayashi, S. Itagaki, T. Hirano, K. Iseki. Placental folate transport during pregnancy. *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, 72 (9), 2277-2284 (2008).
7. A. Kinoshita, D. Kobayashi, Y. Hibino, T. Isago, K. Uchino, K. Yagi, M. Hirai, Y. Saitoh, F. Komada. Regulation of CMV promoter-driven exogenous gene expression with doxorubicin in genetically modified cells. *J. Pharm. Pharmacol.*, 60 (12), 1659-1665 (2008).
8. S. Itagaki, M. Chiba, M. Kobayashi, M. Sugawara, M. Kobayashi, T. Hirano, K. Iseki. Functional analysis of phenolsulfonphthalein transport system in Long-Evans Cinnamon rats. *Biochim. Biophys. Acta*, 1778(1), 270-275, (2008).
9. S. Itagaki, M. Chiba, M. Kobayashi, T. Hirano, K. Iseki. Contribution of multidrug resistance-associated protein 2 to secretory intestinal transport of organic anions. *Biol. Pharm. Bull.*, 31(1), 146-148, (2008).
10. S. Yasuda, S. Hasui, M. Kobayashi, S. Itagaki, T. Hirano, K. Iseki. The mechanism of carrier-mediated transport of folates in BeWo cells: the involvement of heme carrier protein 1 in placental folate transport. *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, 72(2), 329-334, (2008).
11. T. Hirano, S. Yasuda, Y. Osaka, M. Asari, M. Kobayashi, S. Itagaki, K. Iseki. The inhibitory

- effects of fluoroquinolones on carnitine transport in placental cell line BeWo. *Int. J. Pharm.*, 351(1-2), 113-118, (2008).
12. K. Sembongi, M. Tanaka, K. Sakurada, M. Kobayashi, S. Itagaki, T. Hirano, K. Iseki. A new method for determination of both thalidomide enantiomers using HPLC systems. *Biol. Pharm. Bull.*, 31(3), 497-500, (2008).
  13. M. Kobayashi, I. Chisaki, K. Narumi, K. Hidaka, T. Kagawa, S. Itagaki, T. Hirano, K. Iseki. Association between risk of myopathy and cholesterol-lowering effect: a comparison of all statins. *Life Sci.*, 82(17-18), 969-975, (2008).
  14. M. Kobayashi, T. Kagawa, K. Narumi, S. Itagaki, T. Hirano, K. Iseki. Bicarbonate supplementation as a preventive way in statins-induced muscle damage. *J. Pharm. Pharm. Sci.*, 11(1), 1-8, (2008).
  15. N. Chayahara, T. Tamura, M. Yamamori, Y. Kadowaki, T. Okuno, I. Miki, M. Tsuda, H. Nishisaki, T. Maeda, Y. Inoue, K. Okumura, T. Azuma, M. Kasuga, T. Sakaeda, M. Hirai. Phase I and pharmacokinetic study of tegafur-uracil/leucovorin combined with 5-fluorouracil/leucovorin and irinotecan in patients with advanced colorectal cancer. *Am. J. Clin. Oncol.*, 32 (1), 56-60 (2009).

#### 邦文

1. 栗原晶子、山森元博、門脇祐子、八木敬子、中村任、奥野達哉、茶屋原菜穂子、三木生也、田村孝雄、平井みどり、栄田敏之、食道がん化学放射線療法における 5-フルオロウラシル血漿中濃度と治療効果との相関、*TDM 研究*、25 (4) 145-151、2008
2. 山下和彦、中村任、田中健太、李宗子、木下承皓、横山直樹、栄田敏之、平井みどり、荒川創一、ICT 院内ラウンドによる抗 MRSA 薬適正使用への取り組みに関する評価、*環境感染学会誌*、23 (5) 366-370、2008
3. 栗原晶子、山森元博、中村任、西口工司、奥野達哉、茶屋原菜穂子、三木生也、田村孝雄、平井みどり、片岡和三郎、栄田敏之、食道がん化学放射線療法における 5-フルオロウラシル血漿中濃度と副作用との相関、*TDM 研究*、26 (1) 7-13、2009

## II. 書籍

### 1. 著書（分担執筆）

#### 邦文

1. 西口工司：III 全身疾患管理薬の基本／16.抗腫瘍薬，根木昭 編，眼科プラクティス 23. 眼科薬物治療 A to Z 第 1 版，文光堂，2008，377-380 頁
2. 谷藤亜希子：VI 副作用と毒性／One Point Advice 防腐剤不要の点眼容器の工夫，根木昭 編，眼科プラクティス 23. 眼科薬物治療 A to Z 第 1 版，文光堂，2008，445-447 頁
3. 宗亜矢子：VI 副作用と毒性／10.他科からの薬併用の注意点，根木昭 編，眼科プラクティス 23. 眼科薬物治療 A to Z 第 1 版，文光堂，2008，466-467 頁
4. 角山香織：VII 処方と患者説明／One Point Advice 院外処方と院内処方，根木昭 編，眼科プラクティス 23. 眼科薬物治療 A to Z 第 1 版，文光堂，2008，476-477 頁
5. 高橋悠子：VII.処方と患者説明／4.内服薬の服薬指導，根木昭 編，眼科プラクティス

23. 眼科薬物治療 A to Z 第 1 版, 文光堂, 2008, 484-486 頁
6. 西口工司 : VIII 図説作用機序/16.抗腫瘍薬, 根木昭 編, 眼科プラクティス 23. 眼科薬物治療 A to Z 第 1 版, 文光堂, 2008, 542-544 頁
7. 西口工司 : IX 薬の体内動態/One Point Advice 経口投与型徐放性製剤の種類と特徴, 根木昭 編, 眼科プラクティス 23.眼科薬物治療 A to Z 第 1 版, 文光堂, 2008, 586 頁
8. 久米学 : X 薬物開発と関連法規/4.ジェネリック, 根木昭 編, 眼科プラクティス 23. 眼科薬物治療 A to Z 第 1 版, 文光堂, 2008 年, 610-611 頁
9. 西口工司 : X 薬物開発と関連法規/5.薬物治療関連法規, 根木昭 編, 眼科プラクティス 23.眼科薬物治療 A to Z 第 1 版, 文光堂, 2008, 612-614 頁
10. 和田敦 : 2-2 乳がん, 遠藤一司 編, がん化学療法レジメンガイドブック, 羊土社, 2008, 81-129 頁
11. 角本幹夫 : 2-9 造血器腫瘍, 遠藤一司 編, がん化学療法レジメンガイドブック, 羊土社, 2008, 290-314 頁
12. 五百蔵武士, 平井みどり, 病棟業務へのアプローチ-求められる資質とスキル 「患者および医療スタッフとのコミュニケーション能力」, 月刊薬事, 2008, 50 (4), 21-25 頁
13. 矢島空弓, 平井みどり : 病気と薬パーフェクトブック 2009、全身性エリテマトーデス、薬局増刊号、南山堂、2009, 60(4), 689-692

### III.学会発表

#### 1. 国際学会

##### 一般演題

1. S. Itagaki, A. Ochiai, M. Kobayashi, T. Hirano, M. Sugawara, K. Iseki : Grapefruit juice enhances the uptake of coenzyme Q10 in the human intestinal cell-line Caco-2 by inhibition of P-glycoprotein. *The 15th ISSX North American Regional Meeting*, 2008. 10, Sun Diego, USA

#### 2. 国内学会

##### シンポジウム

1. M. Kakumoto, M. Hirai, Approach to ensuring medication safety in pregnancy and breastfeeding – The activities of the Hospital for Sick Children in Toronto-. 第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌

##### 一般演題

1. 小倉次郎、丸山創、小林正紀、板垣史郎、平野剛、井関健 : 小腸虚血再灌流による Mrp2 発現減少メカニズムに関する検討、日本薬剤学会第 23 年会、2008 年 5 月、札幌
2. 関悟、板垣史郎、小林正紀、平野剛、井関健 : N-モノデスエチルアミオダロンの肺細胞への取り込み機構と肺障害性との関連、日本薬剤学会第 23 年会、2008 年 5 月、札幌
3. 植田貴史、山下和彦、紀平裕美、大松秀明、徳野治、阿部泰尚、李宗子、西口工司、平井みどり、荒川創一 : 処方オーダー表示を利用した抗 MRSA 薬適正使用への取り組みとその評価、第 56 回日本化学療法学会、2008 年 6 月、岡山

4. 植田貴史、山下和彦、紀平裕美、大松秀明、徳野治、阿部泰尚、李宗子、西口工司、榎本博雄、角山香織、角本幹夫、平井みどり、荒川創一：処方オーダー表示を利用した抗 MRSA 薬の TDM 適正実施への取り組みとその評価、第 16 回クリニカルファーマシーシンポジウム、2008 年 7 月、千葉
5. M. Kobayashi, T. Kagawa, K. Narumi, K. Hidaka, S. Itagaki, T. Hirano, K. Iseki : Functional characterization of human monocarboxylate transporter 9 (SLC16A9)、第 30 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム、2008 年 8 月、札幌
6. 丸上奈穂、寺元真由美、長谷川真澄、山森元博、谷藤亜希子、角山香織、榎本博雄、西口工司、岡村篤夫、松井利充、平井みどり：ミコフェノール酸モフェチルを用いた造血幹細胞移植プロトコールにおける副作用調査、第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌
7. 多田恵理、打保裕子、藤田恵、丸上奈穂、山道俊彦、山本麻央、堂下真梨、和田敦、角山香織、榎本博雄、西口工司、平井みどり：抗癌剤調製におけるシリンジによる測定誤差について、第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌
8. 中田千絵、平野剛、鷹野瑠美、小林正紀、板垣史郎、井関健：放射線療法に伴う口腔粘膜障害の評価系の確立、第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌
9. 鷹野瑠美、平野剛、中田千絵、笠師久美子、菅原満、小林正紀、板垣史郎、井関健、大江利治：がん化学療法における口内炎の予防に対する抗酸化物質の作用、第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌
10. 丸山創、小倉次郎、小林正紀、板垣史郎、平野剛、井関健：小腸虚血再灌流障害時における小腸吸収動態の変化、第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌
11. 藤井達郎、板垣史郎、小林正紀、平野剛、井関健：肝切除による有機アニオントランスポーター発現変動と遠隔臓器への影響、第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌
12. 下山哲哉、渡辺祐子、山本千秋、小林正紀、板垣史郎、菅原満、平野剛、井関健：消化管吸収予測システムを用いた後発医薬品の薬剤学的同等性評価（1）、第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌
13. 渡辺祐子、山本千秋、下山哲哉、小林正紀、板垣史郎、菅原満、平野剛、井関健：吸収予測システムを用いた後発医薬品の薬剤学的同等性評価（2）～BCS 分類 Class I 及び III の製剤における比較～、第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌
14. 澁谷智美、佐藤夕紀、小林正紀、板垣史郎、平野剛、井関健：ルテイン長期投与による肺蓄積機構の解明、第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌
15. 林えり子、平野剛、小林正紀、板垣史郎、井関健：肺がん化学療法プロトコールの投与スケジュールに着目した評価系の確立、第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌
16. 高市和之、中村峰夫、野田敏弘、唐沢豪貴、岡本泰範、平野剛、井関健：健康食品情報の適切な提供の方法を目指した「あるたな」誌の経過報告、第 18 回日本医療薬学会年会、2008 年 9 月、札幌
17. 角山香織、山口徹郎、紀平裕美、打保裕子、山森元博、和田敦、角本幹夫、榎本博雄、

- 西口工司、平井みどり：当院のヒヤリ・ハット報告からみえてきた疼痛緩和ケアの課題、第2回日本緩和医療薬学会、2008年10月、横浜
18. 佐藤夕紀、澁谷智美、小林正紀、板垣史郎、野田敏宏、水野智、平野剛、井関健：ルテインの吸収・分布動態の解明、第23回日本薬物動態学会、2008年10月、熊本
  19. 知寄郁美、小林正紀、板垣史郎、平野剛、井関健：肝MRP2発現に与えるスタチン系薬物の影響、第23回日本薬物動態学会、2008年10月、熊本
  20. 日高和宏、小林正紀、香川俊樹、板垣史郎、平野剛、井関健：Monocarboxylate Transporter 9(SLC16A9)の機能解析および組織発現分布、第23回日本薬物動態学会、2008年10月、熊本
  21. 鳴海克哉、小林正紀、古堅彩子、板垣史郎、平野剛、井関健：PKCシグナル伝達を介した monocarboxylate transporter 4 の発現調節機構、第23回日本薬物動態学会、2008年10月、熊本
  22. 吉岡千尋、安田哲、小林正紀、板垣史郎、平野剛、井関健：妊娠進行に伴うアミノ酸トランスポータの発現変動評価、第23回日本薬物動態学会、2008年10月、熊本
  23. 石田裕紀、久米学、加古麻恵、川崎美里、芝円、小野由加里、笹山容子、武田珠美、佐々木加代子、榎本博雄、西口工司、平井みどり：治験実施計画書からの逸脱報告に対する是正・予防処置とその評価、第8回CRCと臨床試験のあり方を考える会議、2008年10月、金沢
  24. 佐々木加代子、武田珠美、小野由加里、芝円、石田裕紀、笹山容子、加古麻恵、久米学、榎本博雄、平井みどり、鎌江伊三夫、熊谷俊一：国際スタンダードを踏まえたCRCの養成に向けた取り組み—CRESPによる米国GCRCとの連携交流—、第8回CRCと臨床試験のあり方を考える会議、2008年10月、金沢
  25. 植田貴史、大松秀明、徳野治、阿部泰尚、李宗子、平井みどり、荒川創一：リネゾリドによる血小板減少の発現に影響を及ぼすリスクファクターの検討、第56回日本化学療法学会西日本支部総会、2008年12月、広島
  26. 阿部泰尚、徳野治、大松秀明、森岡一郎、中野雄造、瀬尾靖、西村善博、李宗子、荒川創一：神戸大学医学部附属病院におけるESBL産生菌の動向と今後の対策、第56回日本化学療法学会西日本支部総会、2008年12月、広島
  27. 堂下真梨、小池美緒、門脇祐子、花房加奈恵、五百蔵武士、和田敦、角山香織、榎本博雄、西口工司、平井みどり：安全な外来化学療法における薬剤師の役割について、第30回日本病院薬剤師会近畿学術大会、2009年1月、大阪
  28. 小野由加里、植田貴史、田中健太、山森元博、角本幹夫、角山香織、榎本博雄、西口工司、平井みどり：タクロリムス血中濃度測定におけるACMIA法とMEIA法の比較、第30回日本病院薬剤師会近畿学術大会、2009年1月、大阪
  29. 植田貴史、角本幹夫、山森元博、角山香織、榎本博雄、西口工司、平井みどり：腎移植患者におけるタクロリムスとプロトンポンプ阻害剤の薬物相互作用、第30回日本病院薬剤師会近畿学術大会、2009年1月、大阪
  30. 渋谷奈穂、水田直美、植田貴史、大松秀明、山下和彦、角山香織、榎本博雄、西口工司、平井みどり、荒川創一、岩田健太郎：手術部サテライト薬局の運用と手術中の抗

- 菌薬使用方法の適正化、第 30 回日本病院薬剤師会近畿学術大会、2009 年 1 月、大阪
31. 山下和彦、中村任、林伸英、木下承皓、熊谷俊一、阿部泰尚、荒川創一、栄田敏之、平井みどり：血清シスタチン C を用いたバンコマイシン血清中濃度の予測精度の評価、第 24 回日本環境感染学会総会、2009 年 2 月、横浜
  32. 李宗子、八幡真理子、阿部泰尚、森岡一郎、徳野治、大松秀明、荒川創一：当院における感染防止技術指導 新人看護師(200 名以上)への試み、第 24 回日本環境感染学会総会、2009 年 2 月、横浜
  33. 阿部泰尚、植田貴史、大松秀明、徳野治、森岡一郎、八幡真理子、李宗子、荒川創一：神戸大学医学部附属病院職員における麻疹・水痘・風疹・流行性耳下腺炎の血清抗体保有の現状、第 24 回日本環境感染学会総会、2009 年 2 月、横浜
  34. 八幡真理子、森岡一郎、徳野治、大松秀明、阿部泰尚、李宗子、荒川創一：神戸大学医学部附属病院周産母子センター新生児病棟における新規 MRSA 保菌の発生状況、第 24 回日本環境感染学会総会、2009 年 2 月、横浜
  35. 荒川創一、李宗子、八幡真理子、吉田弘之、森岡一郎、大松秀明、植田貴史、中野雄造、瀬尾靖、西村善博、阿部泰尚、木下承皓：感染制御部 10 年の活動から生まれた理念と方向性、第 24 回日本環境感染学会総会、2009 年 2 月、横浜
  36. 笠井翼、下山哲哉、吉田和幸、平野剛、井関健、加藤美紀、灘井雅行：各種アムロジピン製剤からの溶出挙動に関する検討 (1)、日本薬学会第 129 年会、2009 年 3 月、京都
  37. 松本久美子、植田貴史、小野由加里、山森元博、角本幹夫、角山香織、榎本博雄、平井みどり：当院における TDM オーダリングシステムの導入と評価、日本薬学会第 129 年会、2009 年 3 月、京都
  38. 丸上奈穂、角山香織、角本幹夫、榎本博雄、西口工司、平井みどり：ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) に関する医療従事者の認識度調査、日本薬学会第 129 年会、2009 年 3 月、京都
  39. 上田修平、川崎清香、増見恭子、村田成範、木下健司、吉田明弘、角本幹夫、西口工司、平井みどり：ワルファリン至適投与量決定における ASP-PCR 法を用いた遺伝子型判定の有用性、日本薬学会第 129 年会、2009 年 3 月、京都

#### 研究会等

1. 和田敦：健康食品・サプリメントと健康、小田市民大学講座、2008 年 7 月、尼崎
2. 藤井達郎、板垣史郎、小林正紀、平野剛、井関健：部分肝切除にともなう有機アニオントランスポーター発現変動に関する研究、第 22 回北海道薬物作用談話会、2008 年 7 月、札幌
3. 古堅彩子、鳴海克哉、小林正紀、板垣史郎、平野剛、井関健：細胞内シグナル伝達経路を介した MCT1, 4 調節機構に関する研究、第 22 回北海道薬物作用談話会、2008 年 7 月、札幌
4. 林えり子、平野剛、小林正紀、板垣史郎、井関健：乳がん化学療法における各種プロトコルの抗腫瘍効果—in vitro 評価系の確立—、第 22 回北海道薬物作用談話会、2008 年 7 月、札幌

5. 角本幹夫：トロント小児病院での研修を終えて、平成 20 年度第 1 回実務研修会（阪神・播磨地区）、2008 年 8 月、神戸
6. 和田敦：神戸大学医学部附属病院の取り組み、兵庫県病院薬剤師会卒後教育研修 学生実務実習への病院薬剤部の取り組み、2008 年 12 月、神戸
7. 堂下真梨：安全な外来化学療法における薬剤師の役割について、平成 20 年度第 2 回実務研修会（摂丹・但馬地区）、2008 年 3 月、新温泉町